

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。
架け橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

架け橋プログラム だより

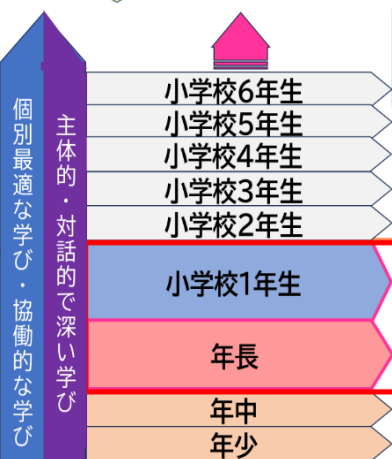
みなさん、こんにちは。今回は、「架け橋期」について生活科の教育課程で小学校の先生方に伝えたことと、外部講師の嶋野道弘先生(元文科省主任視学官)のお話から、**架け橋期で大切にしたいこと**を、Vol33と34でお伝えします。園・小学校双方で共有し、理解を深め、子どもたちの日々の保育や授業に生かしていきましょう。

小学校生活
科教育課程で
伝えたこと

架け橋期とは

横浜市

幼児期で育まれた学びの芽を
小学校で自覚化できる学びにし、
主体的な学び手を育てていく



架け橋期



「はじめの100か月の育ちビジョン」こども家庭庁より

生涯にわたるウェルビーイングを
築いていくうえで特に大事な時期

・ 幼児教育と小学校教育がつながってどうなる？（幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料）文部科学省

「はじめの100か月の育ちビジョン」

人生の初めの大事な100か月。100か月とは**おなかの中に命が授かった時から1年生の終わりまでの期間**です。100か月の重要性は各国の研究による科学的根拠に基づいています。**子どもを真ん中に、子どもの育ちを切れ目なく支える**ビジョンです。詳しくは下のQRコードで！こども家庭庁作成の紹介動画をご覧ください。

・架け橋期キーワードは

嶋野先生
の講演より

横浜市

安心

発揮

自立

- ◆園はいろんな遊びができるよ
- ◆園でやったよ
- ◆学校は楽しいよ

- ◆やってみるよ
- ◆それならできるよ
- ◆園でもやったよ

- ◆自分で考えたよ
- ◆自分でやってみるよ

このキーワードを**具体に**することが大事
具体におろして考え、それを実行してすることが大切



安心し、自己発揮
している姿。自分
でやってみる自立
の姿が見えます

